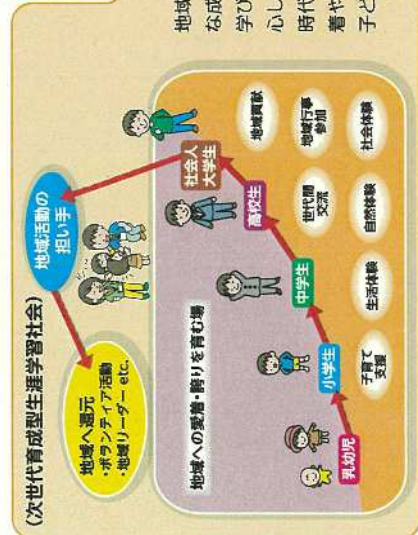


めざす 本市の生涯学習社会の姿

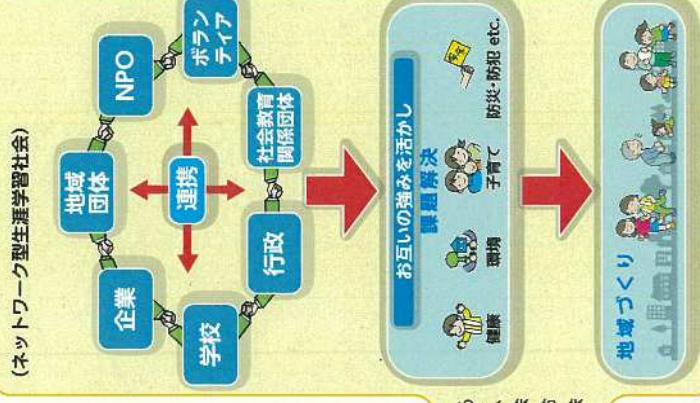
市民一人一人が、生涯にわたるあらゆる段階や場面に於いて、自分に適した手段・方法を選択し主体的に学習に取り組み、学んだ成果を行動に活かす人が地域社会に多く存在する社会



地域が抱えている多様な課題により効果的に対応するため、行政だけでなく自治会、まちづくり協議会等の地域団体、社会教育関係団体、学校、NPO、ボランティア、企業などの地域社会のさまざまな組織が、それぞれの強みを活かしながら共に取り組む高い連携が形成され、地域の活力が高まった社会



地域の様々な市民や団体が継続的に子ども達の健全な成長・発達に関わり、子どもと大人たち全てが共に学び合い、支え合い、高め合う。また、子どもたちが安心して活動できる居場所づくりを進め、これからの時代に必要な力や、生まれ育った地域や本市への愛着や誇りを子どもたちにも育む。そうした環境の中で子どもたちが将来の地域の担い手となる社会



「学びと活動の環」推進プラン 北九州市生涯学習推進計画 (令和3年度～令和7年度)

「生涯学習」ってなんだろう？



「生涯学習」と聞いてみなさんは何をイメージしますか？

生涯学習とは、市民一人一人が、人生を豊かに生きるために、また、豊かで安心して暮らせる社会の実現のために、誰もが生涯にわたり、いつでも、どこでも、だれでも「学び」と「活動」のことで、例えば、以下のような「学び」と「活動」があげられます。

- 健康やスポーツ、レクリエーションに関すること。
- 様々な教養を高めることや家庭生活に関すること。
- 仕事でのスキルアップ、キャリアアップなどに関すること。
- 音楽、手芸、園芸、囲碁、将棋など趣味に関すること。
- 社会問題や市民生活に関すること。
- まちづくりやボランティアなど社会貢献のための活動に関すること。



「北九州市生涯学習推進計画」について詳しくはホームページをご覧ください。
北九州市 市民文化スポーツ局 地域・人づくり部 生涯学習課 TEL.093-582-2385

北九州市印刷物管理番号 第2009144D号

北九州市

北九州市の「生涯学習」の具体的な取り組みをお伝えします!

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり



- (1) 「学び」と「活動」の情報提供の拡充
紙媒体やホームページ・SNSなどのウェブ媒体で多くの情報を提供。
- (2) 気軽に相談ができる体制づくり
適切なアドバイザーができる人材を相談窓口配置。



- (3) 多様な「学び」の機会の提供
ライフステージに対応した学習機会を充実。新たに、障害のある人や外国人住民等への生涯学習を推進。



- (4) 「学び」と「活動」の場づくり
市民が利用しやすい施設になるよう生涯学習関連施設を充実。また、「学び」と「活動」の循環を促進し、学んだ成果を活動に活かす仕組み。



SDGs = SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 持続可能な開発目標

達成すべき具体的な目標として、「17のゴール」(SDGs)が定められています。そのため、施策の柱ごとに目標を定め本計画の取り組みを推進します。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり



- (1) 「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成
地域づくりを担うボランティアや地域活動の中心となるリーダーを発掘・育成。
- (2) 「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成
「学び」と「活動」をつなぐ人材を育成。



施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり



- (1) 「学び」と「活動」による仲間づくり
子どもから高齢者まで世代を超え、地域において様々な交流の場を提供。
- (2) つながりから生まれる地域への愛着・誇りを醸成。
「学び」と「活動」の機会を提供し、シビックプライドを醸成。



- (3) 学校と家庭・地域がつながる教育力の向上
家庭教育に関する啓発と学習機会を提供。地域全体で学校教育を支援。地域の多様な主体が参画・連携しながら、世代間交流、自然体験などを充実。



計画の目標

市民が学び、つどい、まちは輝く。学びと活動の環を広げよう。

基本方針

- ① 人生100年時代を豊かに生きるための生涯学習社会づくり
- ② 「学び」と「活動」が循環する生涯学習社会づくり
- ③ 多様な主体のネットワークによる生涯学習社会づくり
- ④ 子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が高まる生涯学習社会づくり

施策の柱

- 柱1**
誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり
- 柱2**
「学び」と「活動」による人づくり
- 柱3**
「学び」と「活動」によるつながりづくり

施策の視点

- きっかけづくり
- 人づくり
- つながりづくり
- 地域づくり
- ネットワークづくり
- 多様性への対応
- 支援体制づくり
- 行財政改革

具体的な施策

取り組み

(1) 「学び」と「活動」の情報提供の拡充	① 「学び」と「活動」の一元的な情報提供 ② 多様な媒体による情報提供
(2) 気軽に相談ができる体制づくり	① 「学び」の相談体制づくり
(3) 多様な「学び」の機会の提供	① 「学び」のきっかけづくり ② ライフステージや多様性に応じた学習機会の提供・充実 <<②-1 乳幼児期の生涯学習>> <<②-2 青少年期の生涯学習>> <<②-3 成人期の生涯学習>> <<②-4 高齢期の生涯学習>> <<②-5 多様性(障害のある人、外国人住民等)に応じた生涯学習>> ③ 現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供・充実 <<③-1 人権教育の推進>> <<③-2 環境教育の推進>> <<③-3 男女共同参画社会の形成の推進>> <<③-4 子育て支援の推進>> <<③-5 超高齢社会対策の推進>> <<③-6 安全・安心対策の推進>> ④ 生涯学習実践機関のネットワークによる学習機会の充実
(4) 「学び」と「活動」の場づくり	① 学んだ成果を活かす仕組み ② 生涯学習関連施設の整備
(1) 「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成	① 地域ボランティアの発掘・育成 ② 地域リーダーの発掘・育成
(2) 「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成	① 「学び」と「活動」をコーディネートする人材の発掘・育成
(1) 「学び」と「活動」による仲間づくり	① 「学び」と「活動」をきっかけにした仲間づくり
(2) つながりから生まれる地域への愛着・誇り	① シビックプライドの醸成(地域文化、生涯スポーツ) <<①-1 文化振興によるシビックプライドの醸成>> <<①-2 スポーツの振興によるシビックプライドの醸成>>
(3) 学校と家庭・地域がつながる教育力の向上	① 家庭教育支援の充実 ② 家庭・地域・学校の連携促進 ③ 地域における子どもたちの発達・育成を促す環境づくりと体験活動の促進

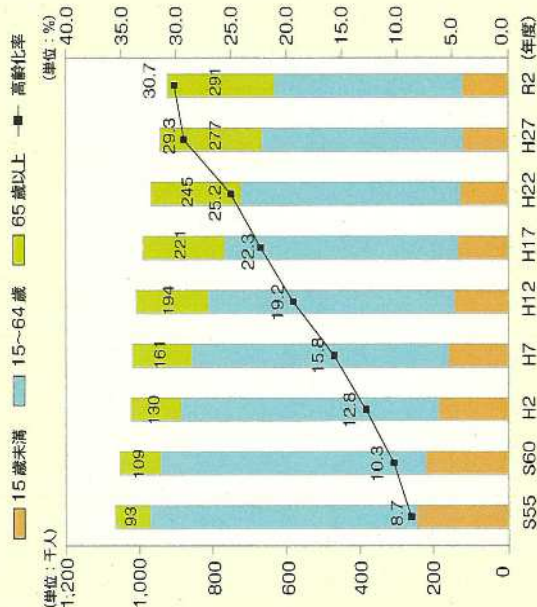
北九州市生涯学習推進計画(「学びと活動の環」推進プラン)について

- ◆ この計画は、市民一人一人の自己実現や学習した成果を活動に活かす自主的・主体的な学習活動を支援し、循環型生涯学習社会づくりを目指すためのものです。
- ◆ 本市の生涯学習を推進するための令和3年度～令和7年度の計画です。
- ◆ 本市の基本構想・基本計画の部門別計画に位置付けています。また、教育基本法に定められている計画のひとつでもあります。
- ◆ 「市民が学び、つどい、まちは輝く。学びと活動の環を広げよう。」を目標としています。

北九州市の状況～社会的背景と生涯学習に求められること～

少子高齢化と人口減少の進行

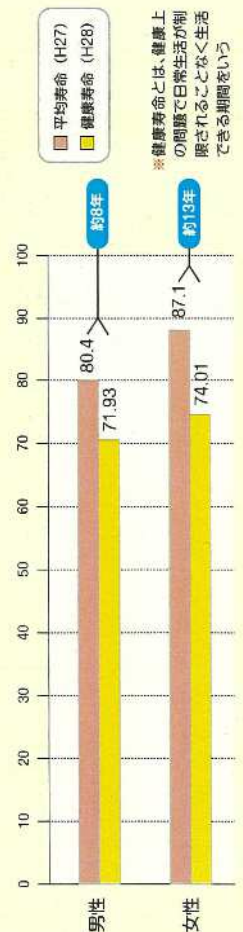
本市の人口及び高齢化率の推移



生涯学習に求められること

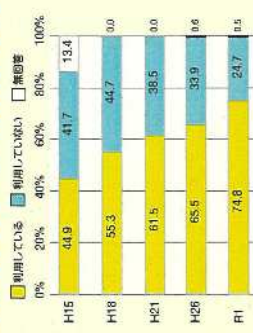
- ★ 健康寿命の延伸につながる高齢者の健康づくりや生きがいづくりの原動力となる生涯学習のきっかけを増やし、生涯学習をする人の裾野を拡大
- ★ 少子高齢化や今後の社会環境の変化など、様々な社会的課題に対応できる学びの提供と次代を担う人材の育成
- ★ 学びと活動の場を通じて高齢者の社会参加を促し、持てる能力を発揮し社会貢献につながる仕組みづくり

健康寿命



情報化・グローバル化の進展

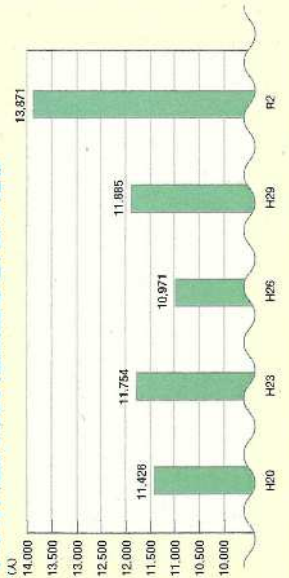
本市のインターネットの利用状況



生涯学習に求められること

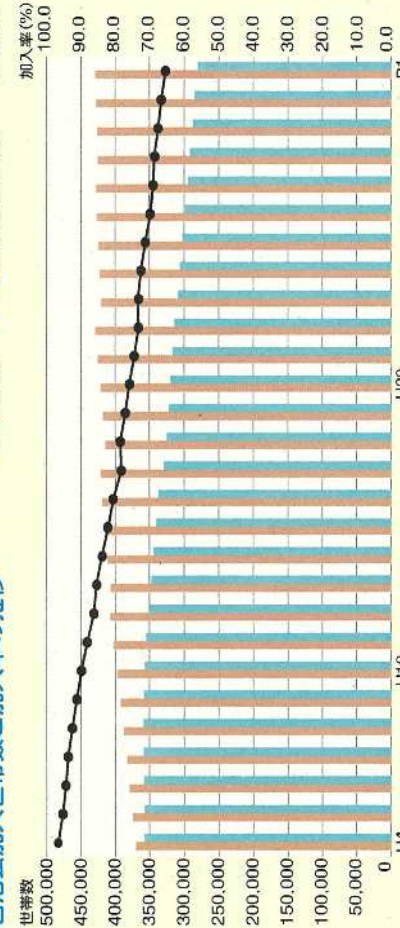
- ★ より多くの市民に生涯学習の情報が発信できるよう、年代・属性等に応じた学習機会と情報の提供
- ★ 外国籍市民等が地域の一員として安心して本市に住み続けられるよう、外国人同士の交流、地域住民との交流促進

本市の外国人市民(住民登録者)数の推移



家族形態の変化・地域コミュニティの希薄化

自治会加入世帯数と加入率の推移



- 生涯学習に求められること
 - ★ 地域活動を支える人材を育成するための学びの機会の充実
 - ★ 生涯学習を通じた地域の人と人をつなげる仕組みづくり

子どもに関わる社会環境の変化

放課後児童クラブ登録児童数

年度	放課後児童クラブ登録児童数	高学年児童数
H27	10,551人	2,426人
H28	11,124人	2,675人
H29	11,489人	2,770人
H30	12,347人	3,031人
R1	12,575人	3,147人

生涯学習に求められること

- ★ 家庭教育支援の充実
- ★ 子どもが健やかに育つ環境づくりに向けた、家庭・地域・学校の連携促進、教育力の向上
- ★ 地域での多世代交流や体験活動等によるシビックプライド(地域への愛着や誇りに基づく市民意識)の醸成

※データの出典は、「北九州市生涯学習推進計画」参照